

『地域とわたしをつなぐ防災講座』

～ 知っておきたい！私たちの地域の防災活動～



令和7年12月20日
御殿場市役所危機管理課補佐監

御殿場市HP
○防災出前講座資料
その他
【令和7年度地域で活躍する
女性防災リーダー育成講座】
『地域とわたしをつなぐ防災講座』

主要略歴

御殿場市役所 危機管理補佐監

杉 本 嘉 章(すぎもと よしあき) (S36(1961). 5. 12生 64才)

◆ プロフィール



静岡県御殿場市出身(神山小・富士岡中・神奈川県立湘南高校・日本大学(通信制))

昭和52年 陸上自衛隊少年工科学校入校 昭和55年 第1戦車大隊(駒門)

平成 5年 第6戦車大隊第2中隊長(宮城) 平成7年 (株)アサヒビル研修

平成14年 第12偵察隊長(群馬) ※新潟県中越地震(H16)

平成17年 イラク復興業務支援隊作戦幕僚(サマワ) 平成18年 統合幕僚学校学生(東京)

平成19年 新潟県中越沖地震現地調整連絡幹部(新潟) ※新潟県中越沖地震(H19)

平成20年 第71戦車連隊長(北海道)※ 有珠山地域担当(H20)、北海道胆振東部地震(H30)

平成22年 自衛隊高知地方協力本部長(高知) ※東日本大震災(H23)

平成24年 陸上自衛隊幹部学校主任教官(東京)

平成25年 東部方面総監部総務部長(東京)※伊豆大島豪雨災害(H25)、御嶽山噴火(H26)

平成27年 西部方面混成団長 兼 相浦駐屯地司令(長崎・佐世保市) ※熊本地震(H28)

平成29年 陸将補 早期退職

平成29年4月 御殿場市役所入庁 危機管理課長 平成30年 危機管理監(部長級)

令和 4年4月 現 職 ※令和元年台風19号(R1)、熱海市伊豆山土石流災害(R3)

平成17年 東京都北区立岩淵小学校PTA会長 平成19年東京都立飛鳥高校PTA副会長

平成24年 高知県観光特使 平成29年 長崎県観光特使 御殿場市国際交流協会会員

令和 元年 市民大学・シニア大学・御殿場看護学校講師(災害・国際看護学)、各種セミナー講師

令和 6年 台湾全国防災教育者国際実務研修講師 令和7年度 第3陸曹教育隊 陸曹中級課程講師

説明項目

I 御殿場市の地形・防災上の特性

II 知っておきたい私たちの地域

- ① 御殿場市の人口
- ② 指定避難所の数、場所
- ③ 避難所開設担当部署
- ④ 避難所開設担当部署の女性職員数
- ⑤ 市の保有する防災備蓄の種類
- ⑥ 災害時、防災備蓄の行き渡り
- ⑦ 相談窓口（災害時の相談は？）
- ⑧ 把握、連携している女性団体
- ⑨ 地域住民に期待すること
- ⑩ その他、地域住民に知ってもらいたいこと

御殿場市の地形・防災上の特性

靈峰富士の裾野に広がる2市1町



富士山・箱根の中央に位置する御殿場市は？

西からの風雨・雪

三国山～不老山

富士山

愛鷹山

箱根外輪山

天城山

東からの風雨・雪

南西からの風雨・雪

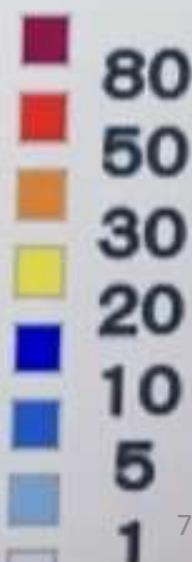
伊豆・箱根・富士山

静岡

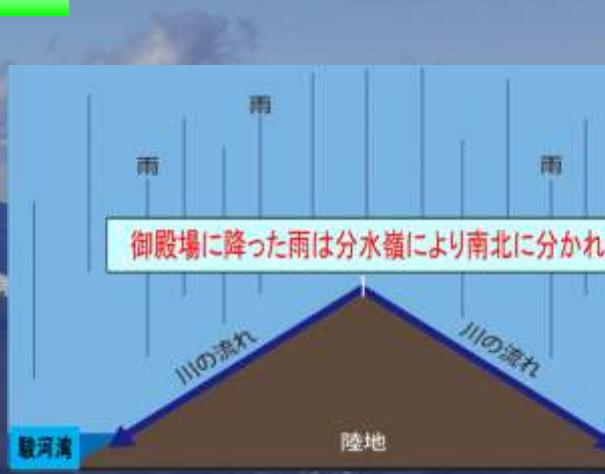
御殿場は豪風雨
(線状降水帯→球状降水帯)

南西からの風雨

熱海は影響少なし



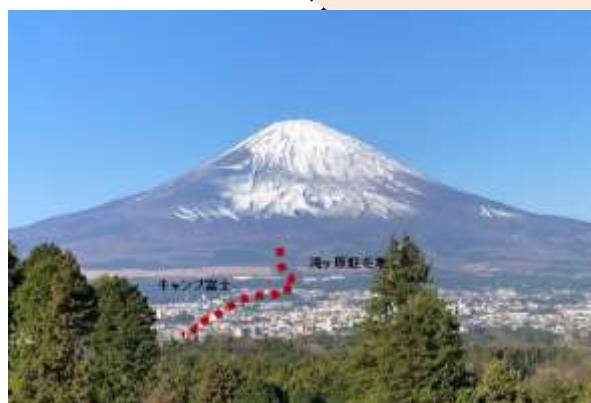
分水嶺(小高い丘)による影響



主要地区標高・河川の流れ



相模湾



降水は『南北に2分』される！
∴ 一ヶ所に集中しない ◎



▲御殿場市内標高差: 約400m
⇒ 降雪量に影響(豪雪災害)

土砂災害警戒区域



土石流(30)

◆ 土石流

豪雨によって山から崩れ
てきた土砂や石や岩が水と
一緒にになって、ものすごい
勢いで流れ落ちてくるもの
※ 速度は、時速40~50
km/hにもなります。

※ 大きな岩も流されて危険



がけ崩れ(21)

◆ がけ崩れ(急傾斜地)

豪雨によって急な斜面が
突然崩れ落ちるもの
※ 一瞬のうちに起こることが
多いため、家が壊れ、逃げ遅
れて亡くなる人が多い。

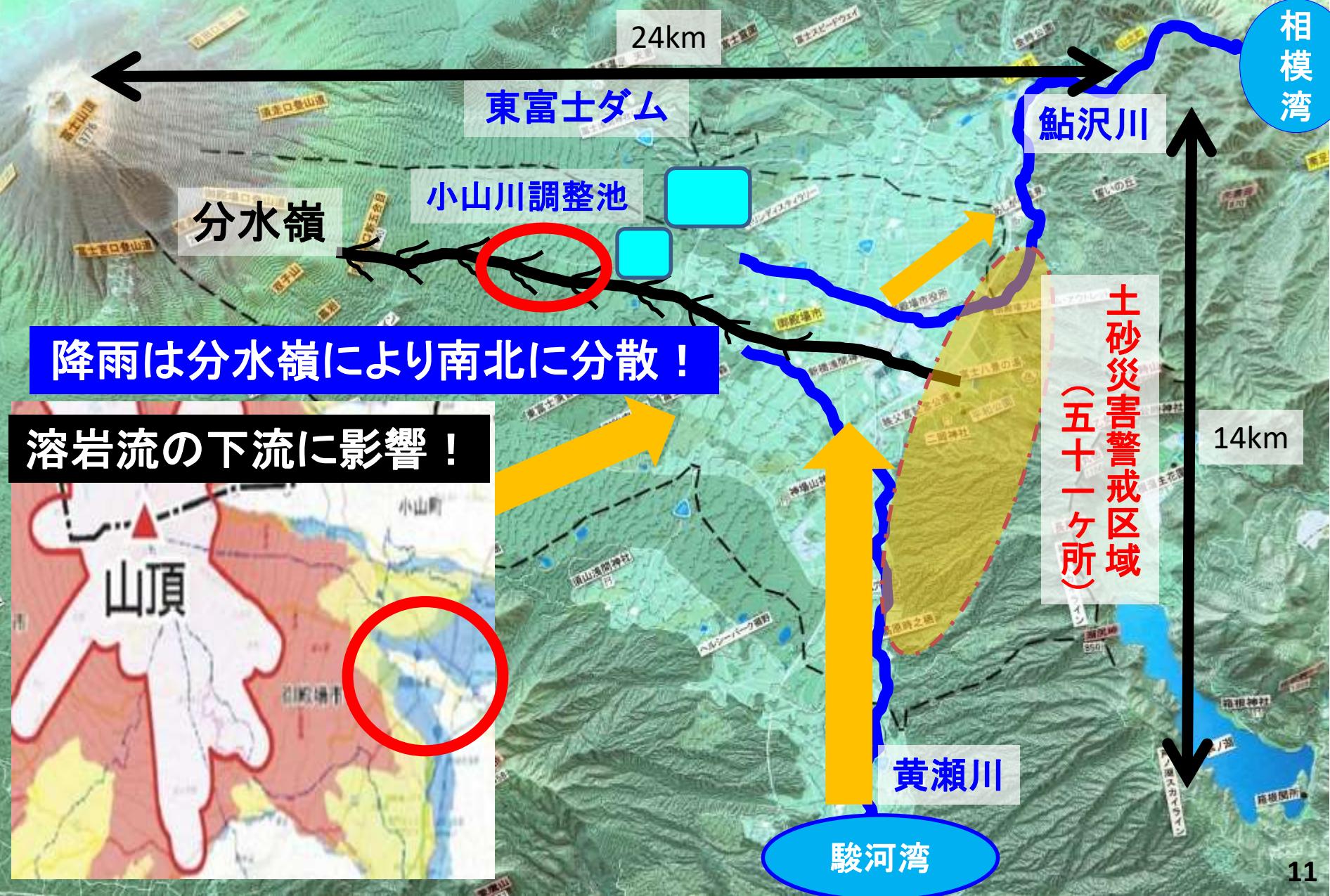


警戒区域該当区
11コ区

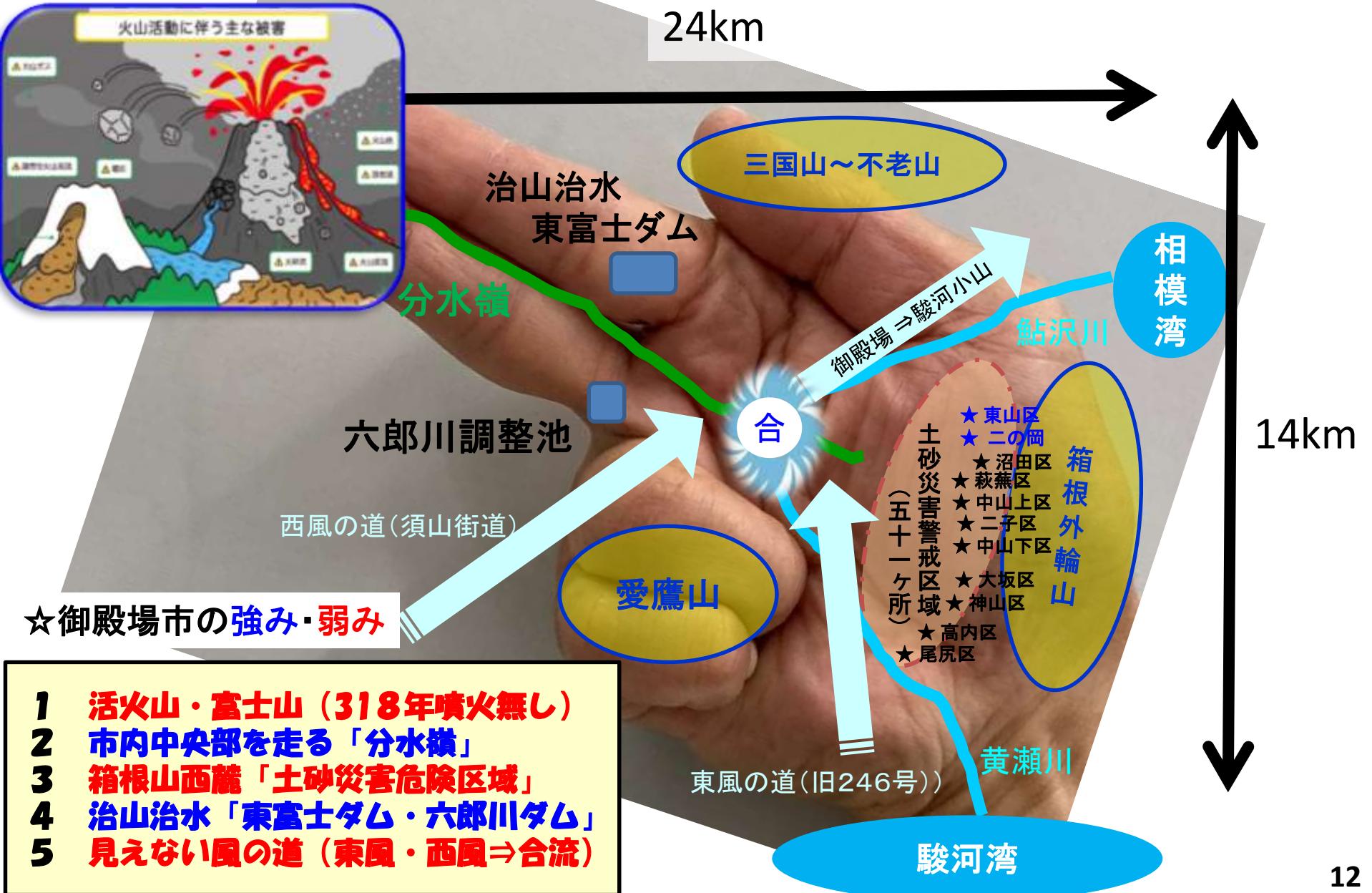
122世帯

310人

御殿場市の地形上の特性



御殿場市防災上の特性『ハンドサイン』



☆御殿場市の強み・弱み

- 1 活火山・富士山（318年噴火無し）
2 市内中央部を走る「分水嶺」
3 箱根山西麓「土砂災害危険区域」
4 治山治水「東富士ダム・六郎川ダム」
5 見えない風の道（東風・西風⇒合流）

① 御殿場市の人口

① 御殿場市の人口(R7.12.1)

御殿場市の人口と世帯

（基本台帳による） 12月1日現在

人口	総数	83038人
男	42324人	
女	40714人	
世帯数	38526幕	

前月との比較増減数

-34
-6
-28
+3

上記の人口の、日本人と外国人の内訳は以下の通りです。

日本人の人口	79,715
男	40,682
女	39,033
日本人世帯数	36,346
外国人の人口	3,323
男	1,642
女	1,681
外国人世帯数	2,180

詳細な人口データは、御殿場市ホームページをご覧ください。

高根支所
(高根支部)

高根地区	
1	塚原(つかばら)
2	六日市場(むいかいちば)
3	美乃和(みのわ)
4	清後(せいご)
5	山之尻(やまのしり)
6	柴怒田(しばんた)
7	上小林(かみこばやし)
8	水土野(みどの)
9	古沢(ふるさわ)

玉穂支所
(玉穂支部)

玉穂地区	
1	茱萸沢下(ぐみざわしも)
2	茱萸沢上(ぐみざわかみ)
3	中畑東(なかばたひがし)
4	中畑北(なかばたきた)
5	中畑南(なかばたみなみ)
6	中畑西(なかばたにし)
7	川柳(かわやなぎ)

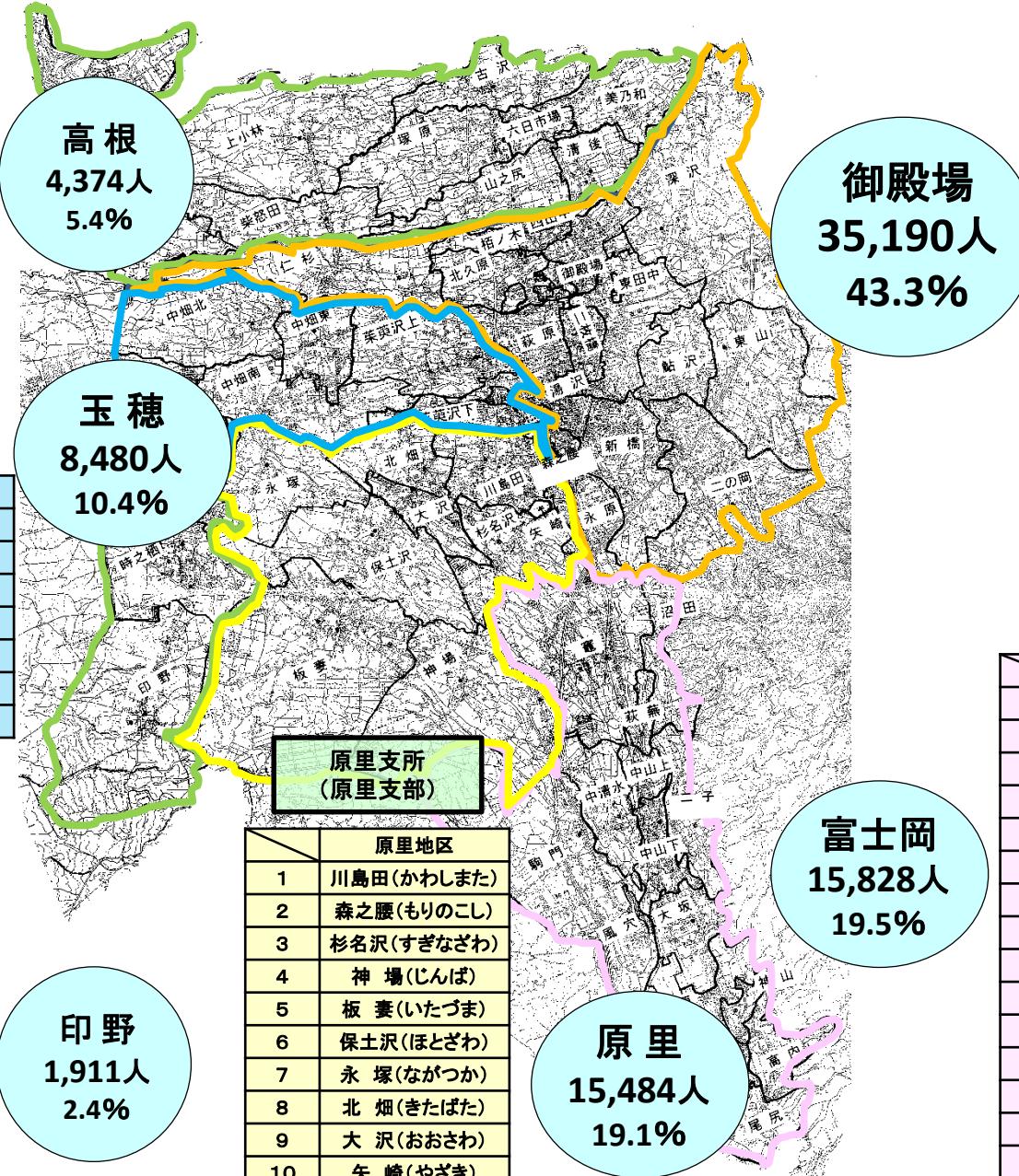
印野支所
(印野支部)

印野地区	
1	小木原(おぎわら)
2	時之栖(ときのす)
3	印野(いんの)

① 御殿場市の人口(R7.12.1)

6

御殿場地域振興センター
(御殿場支部)



御殿場地区	
1	御殿場(ごてんば)
2	深沢(ふかさわ)
3	東山(ひがしやま)
4	東田中(ひがしたなか)
5	二の岡(にのおか)
6	鮎沢(あいざわ)
7	新橋(にいはし)
8	湯沢(ゆざわ)
9	萩原(はぎわら)
10	二枚橋(にまいばし)
11	西田中(にしたなか)
12	北久原(ほくばら)
13	仁杉(ひとすぎ)
14	柏木(かやのき)
15	永原(ながはら)

富士岡支所
(富士岡支部)

富士岡地区	
1	竜(かまと)
2	萩蕉(はぎかぶ)
3	沼田(ぬまた)
4	ニ子(ふたご)
5	中山上(なかやまかみ)
6	中山下(なかやましも)
7	風穴(かざあな)
8	中清水(なかしみず)
9	駒門(こまかど)
10	大坂(おおさか)
11	町屋(まちや)
12	高内(たこうち)
13	尾尻(おじり)
14	神山(こうやま)
15	富士見原(ふじみはら)

災害発生時の情報、指示・報告の流れ(59・6・1)

D日H時
災害発生

「御殿場災害情報」:上りの情報・下りの指示 ご苦労(59・6)重ねて一(1)になる!

市役所

- ・同報無線
- ・ほっとメール
- ・FM放送



県災害対策本部(東部方面本部)

・防災情報共有システム(FUJISANシステム)等

御殿場市災害対策本部

(本部長:市長、本部員:副市長・各部長等)

消防(消防団)・警察・自衛隊
ライフライン・FM御殿場等
関係機関

派遣
難所
職員

支部派遣
職員

防災無線・衛星携帯・電話・
伝令等による報告
(メール・FAX等含む。)

市指定避難所(28ヶ所)
(福祉避難所(10ヶ所))

中・小学校、保育幼稚園等

御殿場支部

富士岡支部

原里支部

玉穂支部

印野支部

高根支部

無線・電話・伝令等
による報告



59区災害対策本部(公民館・コミセン)

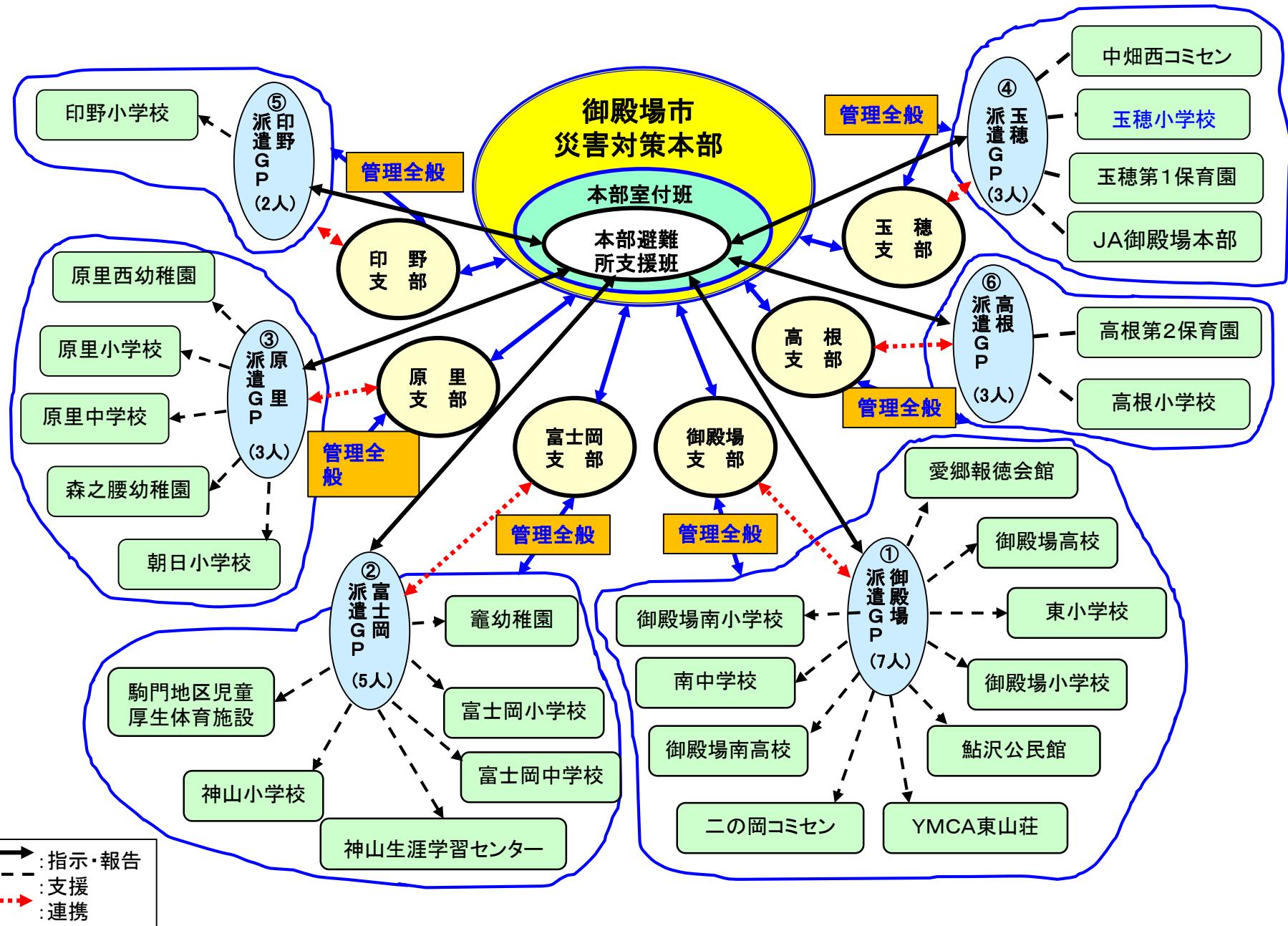
各区内班・組等

安否確認、被害状況の把握・報告

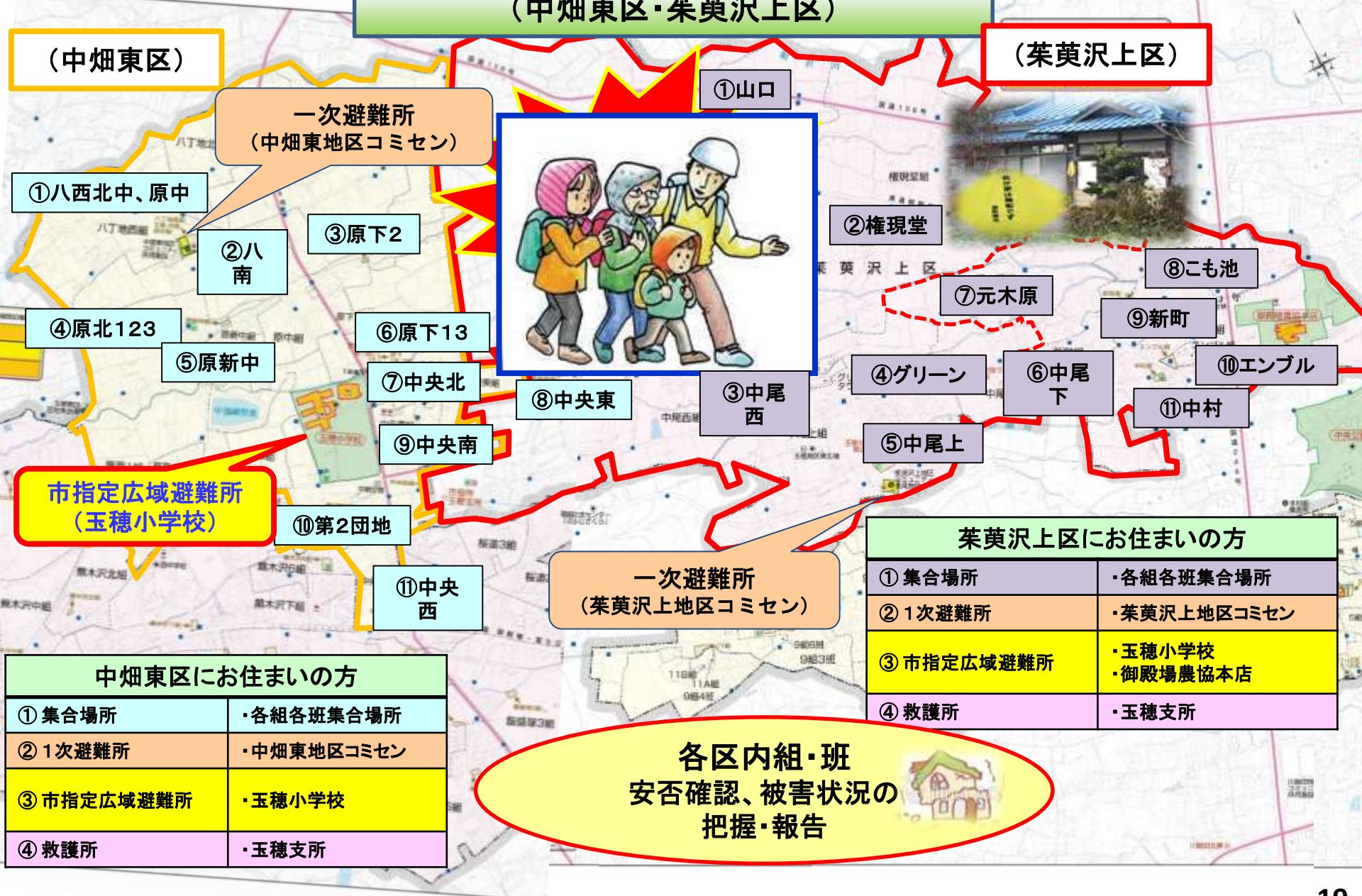


②指定避難所の数・場所

② 指定避難場所の数・場所(28ヶ所)



モデル区訓練・玉穂小避難所 (中畠東区・茱萸沢上区)



レイアウト概要

【全般】

- ・本部から全体を確認できるよう配置
- ・既存設備を有効活用（トイレ・更衣室等）
- ・仮設トイレは人目につくところ（犯罪防止）

【要配慮者】

- ・要配慮者スペースの確保（本来は別室が好ましい）

【ペット同行避難】

- ・ペットスペースの確保（人の居室と離れたところ）

【感染症対策】

- ・玄関が1つのため、発熱等の方を専用スペースへ案内する際、仕切り等が必要
- ・人と人とのできる限り接触しないよう、動線を規制する等

玉穂小学校避難所レイアウト（全体）

ペット飼育場所
(体育館南側駐車場)

茱萸沢下区

中烟南区

中烟北区

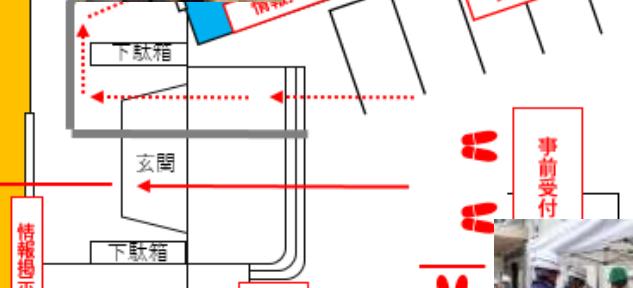
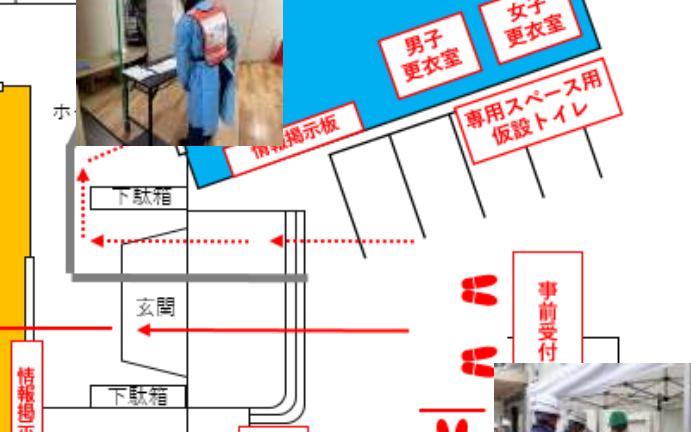
茱萸沢上区

中烟東区

通路 (黄色の部分)

炊き出し場所
(体育館南側駐車場)ゴミ集積所
(体育館南側駐車場)

廊下

情報掲示板
(黄色の部分)男子更衣室
女子更衣室専用スペース用
仮設トイレ車中泊避難者
(駐車場)

事前受付

V
V
VV
V
VV
V
VV
V
VV
V
VV
V
V

③避難所開設担当部署

③ 避難所開設担当部署 (御殿場市災害対策本部)



本部員会議

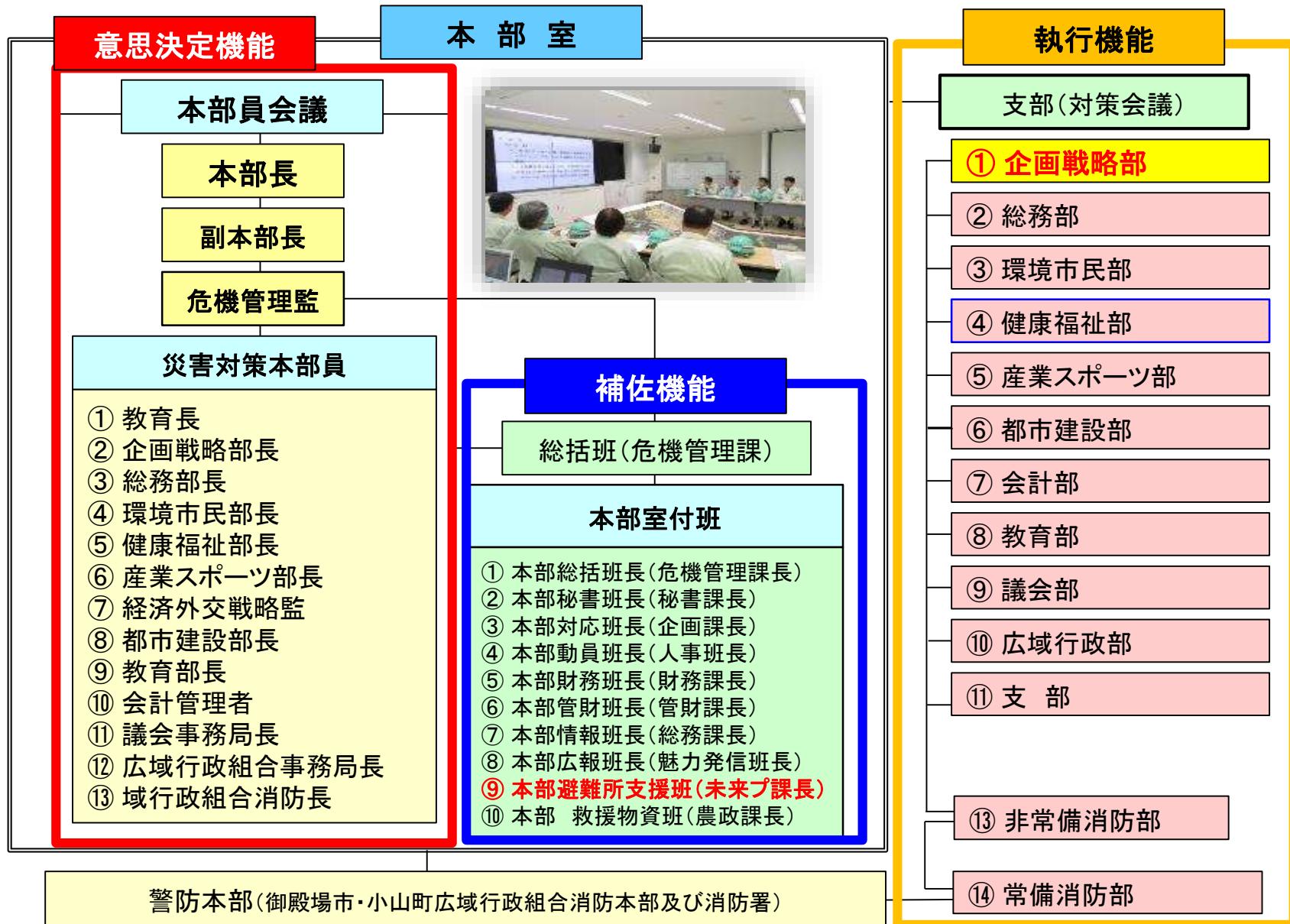


関係機関との調整



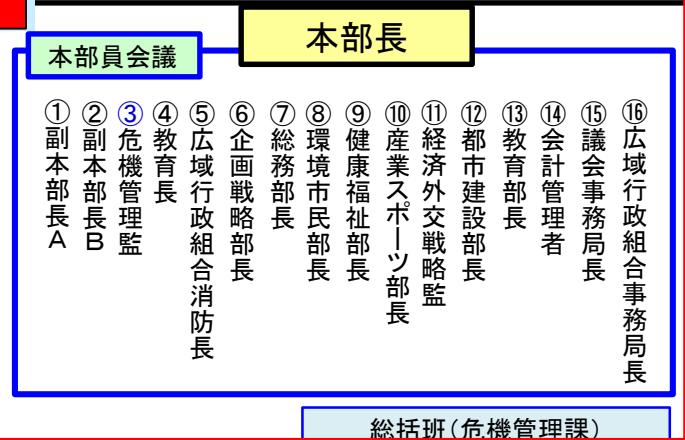
各班の活動状況

③ 避難所開設担当部署

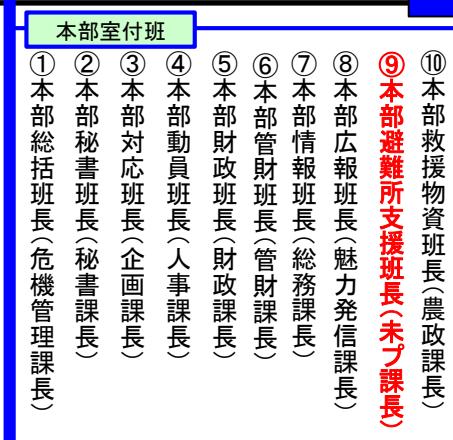


③ 避難所開設担当部署

意思決定機能

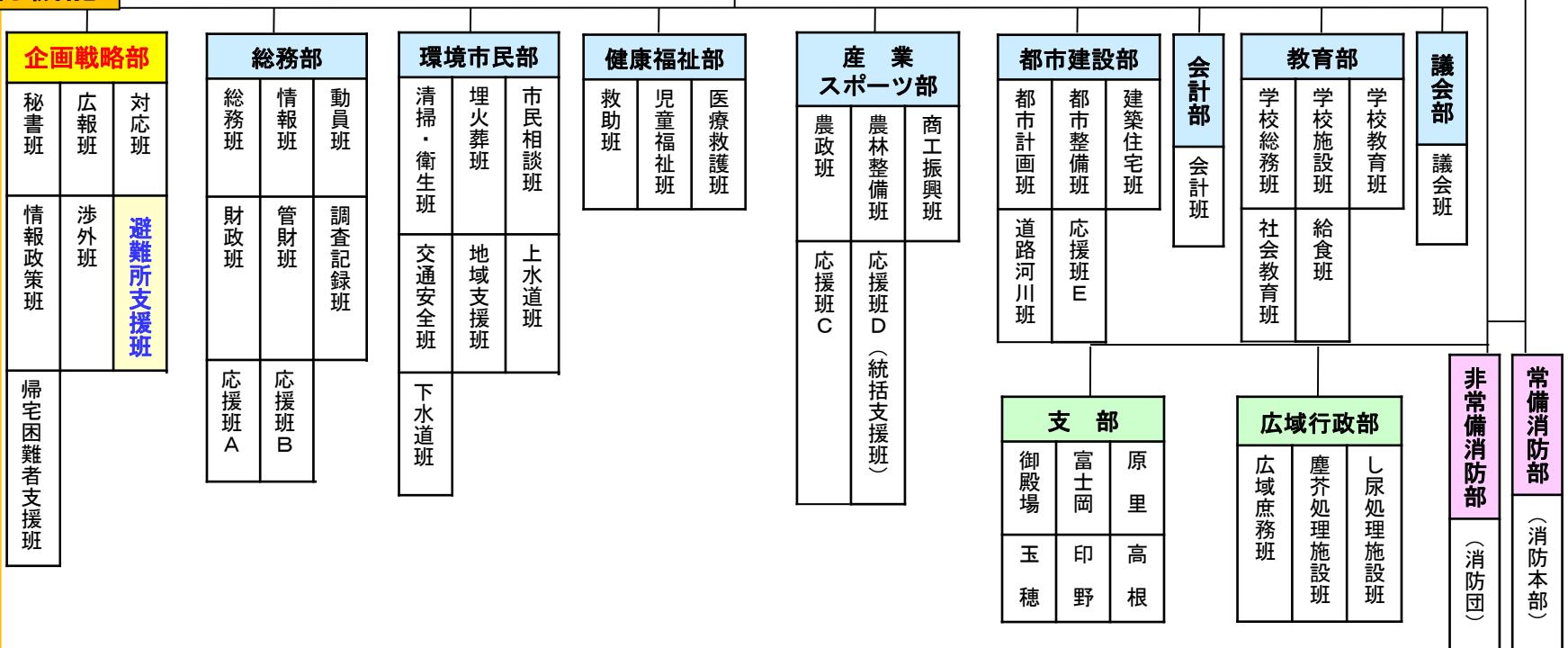


補佐機能



警防本部
(御殿場市・小山町
広域災害対策本部
及び消防署)

執行機能



御殿場市災害対策本部組織図(課・センター等⇒班)

部	課名	災害対策本部班名
企画戦略部	秘書課	秘書班
	企画課	対応班
	未来プロジェクト課	避難所支援班
	観光交流課	帰宅困難者支援班
	魅力発信課	広報班
	デジタル戦略課	情報政策班
	演習場涉外課	涉外班

総務部	総務課	総務班 情報班
	人事課	動員班
	財政課	財政班
	管財課	管財班
	税務課	調査記録班
	課税課	
	特別債権対策課	応援班A
	監査委員事務局	応援班B

環境市民部	環境課	清掃・衛生班
	市民課	埋火葬班
	国保年金課	
	くらしの安全課	市民相談班 交通安全班市民相談班
	市民協働課	地域支援班
	上水道課	上水道班
	下水道課	下水道班

健康福祉部	社会福祉課	救助班
	長寿福祉課	
	子育て支援課	児童福祉班
	保育幼稚園課	
	健康推進課	
	救急医療課	医療救護班

産業スポーツ部	農政課	農政班
	農林整備課	農林整備班
	商工振興課	商工振興班
	スポーツ交流課	応援班C
	国土調査課	応援班D

都市建設部	都市計画課	都市計画班
	まちづくり推進課	都市整備班
	公園緑地課	応援班E
	建築住宅課	建築住宅班
	道路河川課	道路河川班
	管理維持課	

会計部	会計班	会計課
-----	-----	-----

教育部	教育総務課	教育総務班
	教育施設課	教育施設班
	学校教育課	学校教育班
	社会教育課	社会教育班
	学校給食課	給食班

議会部	議会事務局	議会班
	事務局庶務課	広域庶務班
	事務局資源循環課	塵芥処理施設班
広域行政部	事務局衛生センター	し尿処理施設班

支部	御殿場地域振興センター	御殿場支部
	富士岡支所	富士岡支部
	原里支所	原里支部
	玉穂支所	玉穂支部
	印野支所	印野支部
	高根支所	高根支部

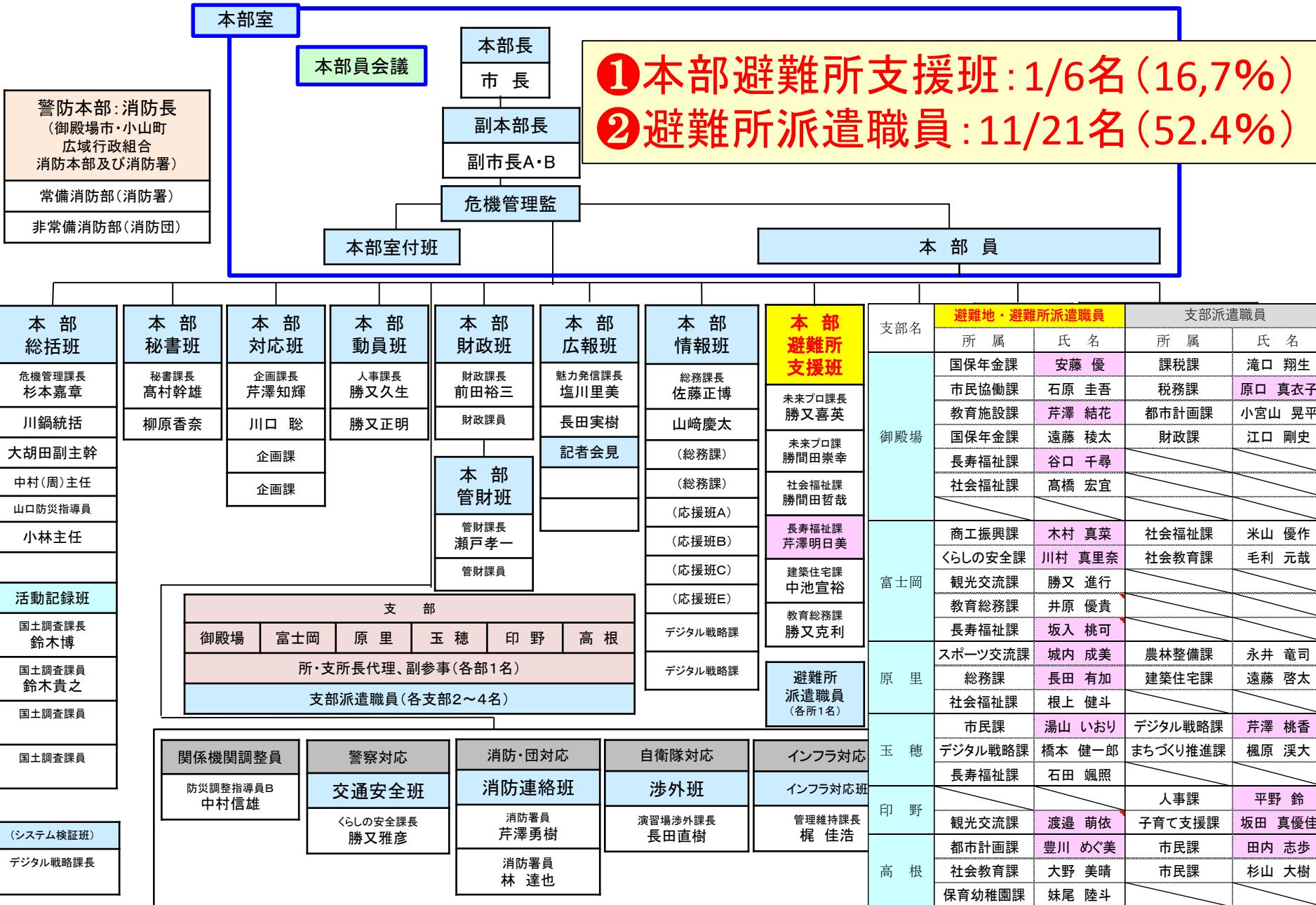
非常備消防部	消防団	消防団
常備消防部	消防本部	消防本部

市指定避難所開設に関する協議(災対本部)



④避難所開設担当部署 の女性職員数

④ 避難所開設担当部署の女性職員数



⑤市の保有する防災備蓄 の種類、量

⑤ 市の持っている防災備蓄の種類、量

品目	必要整備数の考え方	整備目標	R6末時点整備状況	
			保有総数	整備率
		A	B	B/A
1 備蓄食料	発災後1週間避難者数23,819人×3食×2日	142,914	118,540	83%
2 毛布	発災後1週間避難者数23,819人×1枚	23,819	14,103	59%
3 ブルーシート	半壊5,200世帯×2枚	10,400	6,853	66%
4 簡易トイレ	避難地・避難所32箇所×30個	960	845	88%
5 仮設トイレ	避難地・避難所32箇所×4基 ※	128	97	76%
6 排便用収納袋	発災後1週間避難者数23,819人×5回×3日	357,285	137,000	38%
7 ガソリン缶	救護所5箇所×10缶(10ℓ)+予備10缶	60	60	100%
8 火山用ゴーグル	第3次避難対象エリア9,570人	9,570	3,200	33%
9 哺乳ボトル	0歳児485人×5回×3日	7,275	1,000	14%
10 発電機・投光器	避難所28箇所×2台ずつ(R4~R6はLED投光器セット*6)	56	50	89%
11 LED投光器	避難所28箇所×1台	28	0	0%
12 間仕切り	避難所28箇所×15張	420	200	48%
13 エアーマット	避難所用200個(※緊急的に購入)	200	200	100%
14 段ボールベッド	富士岡地区避難所15箇所×4セット(3年に1度、更新検討)	60	60	100%

御殿場市 災害拠点マップ

市内各地区の防災倉庫・貯水槽

の違いは？

救護所では重症度・緊急度判定を行い、軽症者は処置を行いますが、中等症患者・重症患者は応急処置したのち救護病院への搬送手配を行います。

救護病院では、再度重症度・緊急度判定を行い、入院治療を要す患者の処置を行いますが、対応することができない重症患者は応急処置をしたのち、災害拠点病院への搬送手配を行います。

大規模な災害が発生したときに、多数の患者が同時に救護病院に搬送すると、中等症患者や重症患者の応急処置が遅れ、結果として多くの方を救うことができなくなってしまいます。

大規模な災害が発生し、けがをしてしまったり、病気を発症してしまったときは、重症度緊急度にかかわらず、応急処置をもらえるように救護所に向いましょう。

⑦高根地区防災倉庫（高根小）

耐震性貯水槽

耐震性貯水槽

第5救護所		
救護所名	電話番号	対象地域
第5救護所 玉穂支所	89-0161	玉穂地区（一部は第2へ） 印野地区の一部（小木原） 御殿場地区の一部（仁杉区） 高根地区の一部 (柴怒田、水土野、上小林)

高根第2保育園

④玉穂地区防災倉庫（玉穂支所）

第1救護所

救護所名	電話番号	対象地域
第1救護所 保健センター (緊急医療センター)	82-1111 (83-1111)	群段場地区（一部は第2、第5へ） 高根地区（一部は第5へ）

耐震性貯水槽

耐震性貯水槽

耐震性貯水槽

⑤印野地区防災倉庫 (印野支所)

③原里地区防災倉庫 (原里小)

耐震性貯水槽

①御殿場地区防災倉庫 (地域振興センター)

第2救護所

救護所名	電話番号	対象地域
第2救護所 御殿場小学校	82-0911	御殿場地区の一部 (新橋、湖沢、二の岡、永原) 原里地区の一部（森之郷区） 玉穂地区の一部 (東奥沢下246号より苗根村)

②富士岡地区防災倉庫・第4救護所（富士岡小）

市内6地区の防災倉庫



御殿場地区防災倉庫



富士岡地区防災倉庫



原里地区防災倉庫



玉穂地区防災倉庫



印野地区防災倉庫



高根地区防災倉庫

⑤ 市の持っている防災備蓄の種類、量(倉庫内)



①アルファー米



②アレルギー対応アルファー米



③うどん



④パンの缶詰



⑤毛 布



⑥組立式トイレ



⑦100t耐震性貯水槽

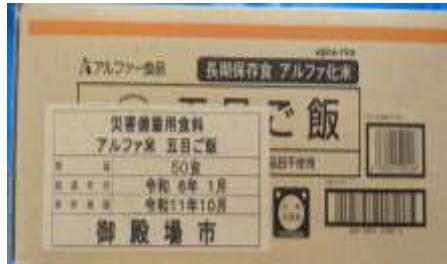


⑧発電機

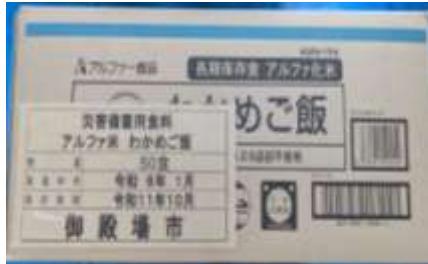


⑨段ボールベッド・間仕切り

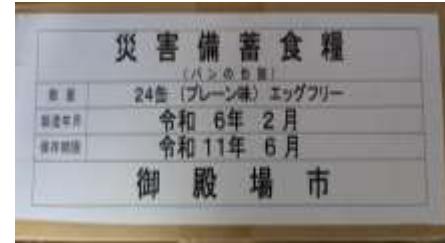
⑤ 市の持っている防災備蓄の種類、量(指定避難所内)



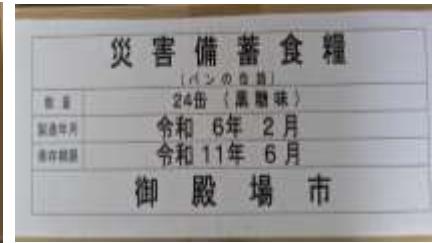
アルファ米（五目ご飯）



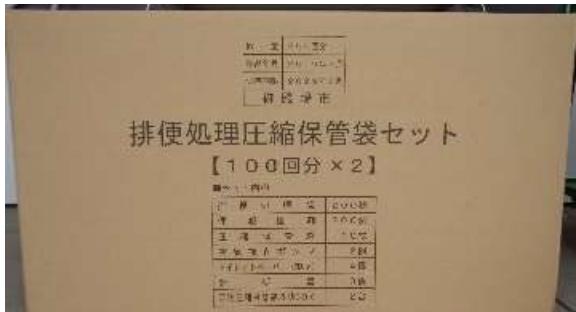
アルファ米（わかめご飯）



パンの缶詰
プレーン（エッグフリー）



パンの缶詰
黒糖味



便ぶくろ200回分



便ぶくろ100回分



仮設トイレ



災害用毛布10枚入り



ビニールシート



バルーンライト



はつでんき

100t飲料水兼用耐震性貯水槽

鋼製・耐震設計 飲料貯水給水管

直結給水方式

給水管に直接接続する事で大気に触れないと、受水槽方式と比べて水質が安定します。(管路の一部となる)

建物の景観保護

駐車場などの地下に埋設することで建物のデザイン性を損なわず、地上スペースを有効活用できます。

公共実績多数

全国の公共水道で採用されている「飲料水兼用耐震性貯水槽」180基の販売・工事実績を基にご提案致します。

簡単設置・低コスト

工場検査を経て一体型製品として出荷するため設置がスムーズです。毎年6面点検が必要な受水槽よりもメンテナンス費用が低く抑えられます。

耐震性・安全性

耐震設計により災害時に飲料水を確保し、停電しても可搬型給水ポンプにて水槽内の水を汲み上げて飲むことができます。水槽内面は水道用塗料を使用しています。

※JWWA k157認証塗料を使用



導入の メリット

飲料水槽+給水管

災害時でも安心!



『日頃からの物の準備』

非常持出品リスト

●貴重品

現金、預貯金通帳、印かん、免許証、権利証書、健康保険証など。



避難するとき、まず最初に持ち出すべきものです。

●非常食品

カンパン・缶詰・栄養補助食品など調理せずにそのまま食べられる物、ドライフーズ、ミネラルウォーター、水筒、プラスチックか紙製の皿やコップ、わりばし、缶切り、乳幼児・高齢者・病人用に、缶詰やびん詰の離乳食、粉ミルク、レトルトのおかゆ、アレルギー対策食品など。

●携帯ラジオ

予備電池は多めに用意。

●懐中電灯

できれば1人に1つ。予備電池も忘れずに。

●応急医薬品

ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、鎮痛剤、解熱剤、目薬、消毒薬。持病のある人は常備薬。

●その他の生活用品

下着・上着、靴下などの衣類、軍手、タオル、ティッシュペーパー、ウエットティッシュ、雨具、ライター、ビニール袋、生理用品、紙おむつなど。

非常備蓄品リスト

非常備蓄品は、災害復旧までの数日間(最低7日分)を自足できるように準備しておくものです。

●飲料水

飲料水は1人1日3リットルを目安に。缶入りやペットボトルのミネラルウォーターがよい。ペットボトルよりも缶入りの飲料水のほうが長持ちする。



●非常食品

カンパン、缶詰やレトルトのおかず、栄養補助食品、アルファ米、レトルトのごはん、ドライフーズ、インスタント食品、梅干し、チョコレート・アメなどの菓子類、調味料など。



●その他の生活用品

生活用水(乳児に注意して風呂や洗濯機に備蓄、寝る前にはやかんやポットにも水を入れておく)。毛布、寝袋、洗面用具、ボリ容器、なべ、やかん、バケツ、トイレットペーパー、使い捨てかいろ、ろうそく、さらし、ロープ、バーク等工具、ビニールシートなど。

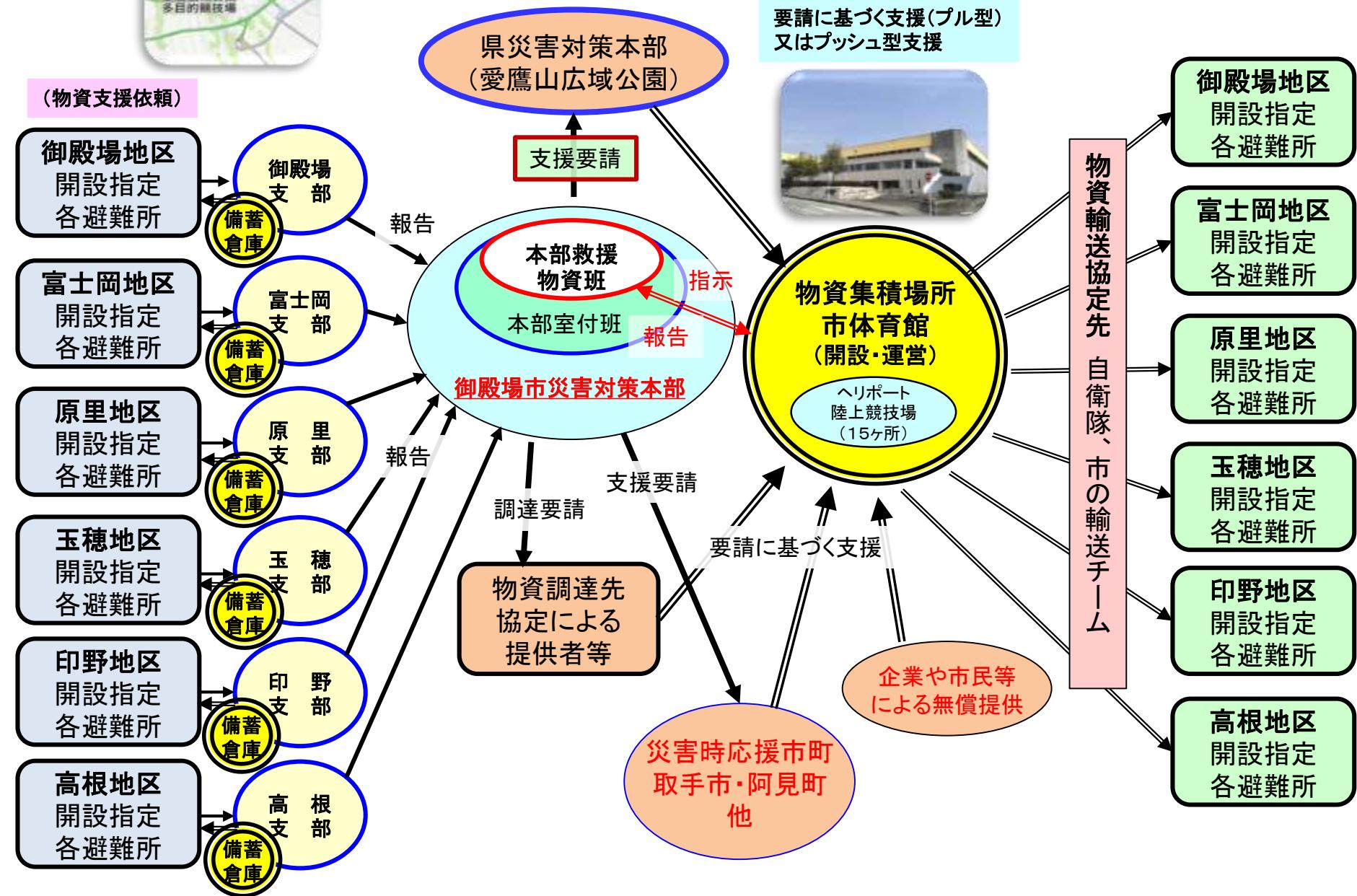


⑥災害時、 防災備蓄の行き渡り

⑥ 災害時、防災備蓄の行き渡り



(物資支援依頼)



御殿場市体育館内の物資集積要領

令和元年9月
午前6時現在

20



御殿場市体育館内の集積備蓄品



令和元年9月1日
午後11時現在

⑦相談窓口 (災害時の相談は?)

市が行う主要な災害応急対策

搜索・救助



避難所の開設



救護所の開設



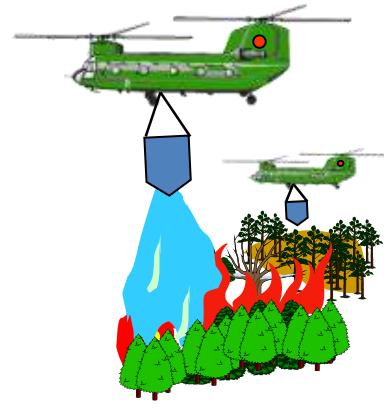
患者空輸



物資輸送



消防活動



ライフライン復旧活動



家屋調査・り災証明書・仮設住宅



災害対策本部

災害ボランティア本部



入浴支援



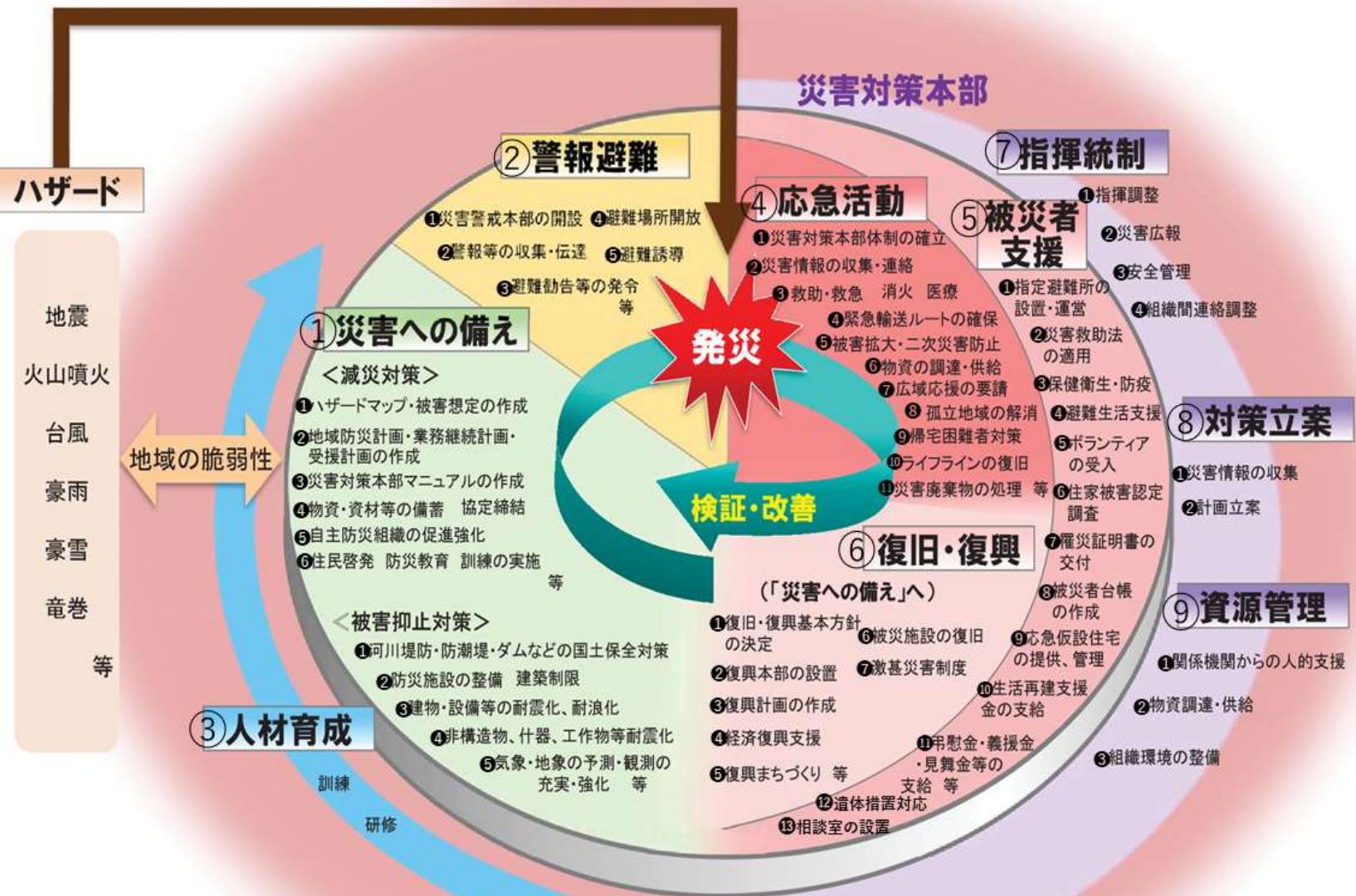
給水・給食支援



埋火葬対応



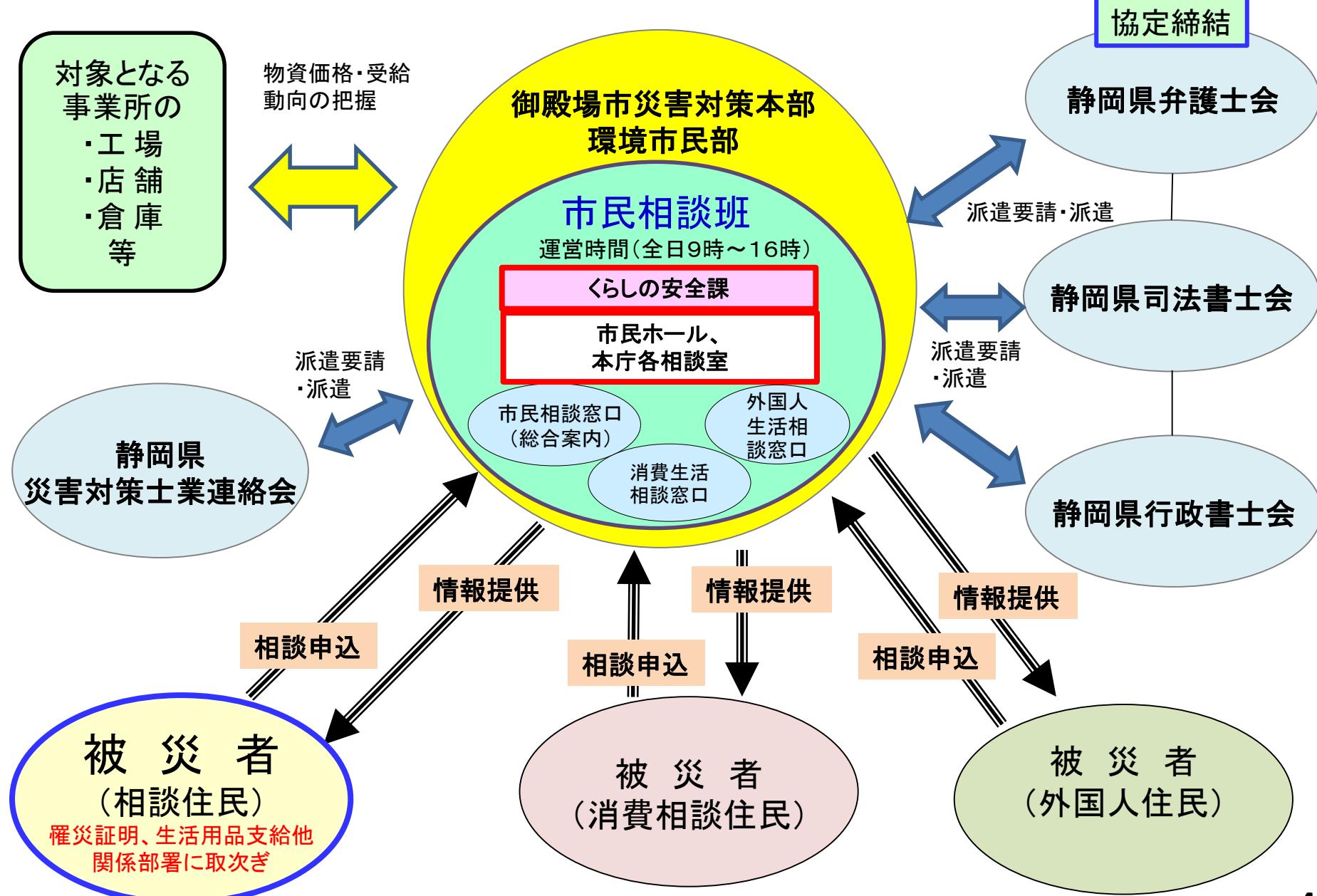
災害対応のサイクル(平時～災害時)



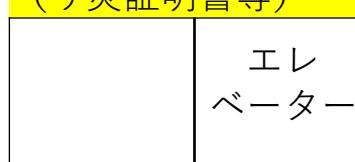
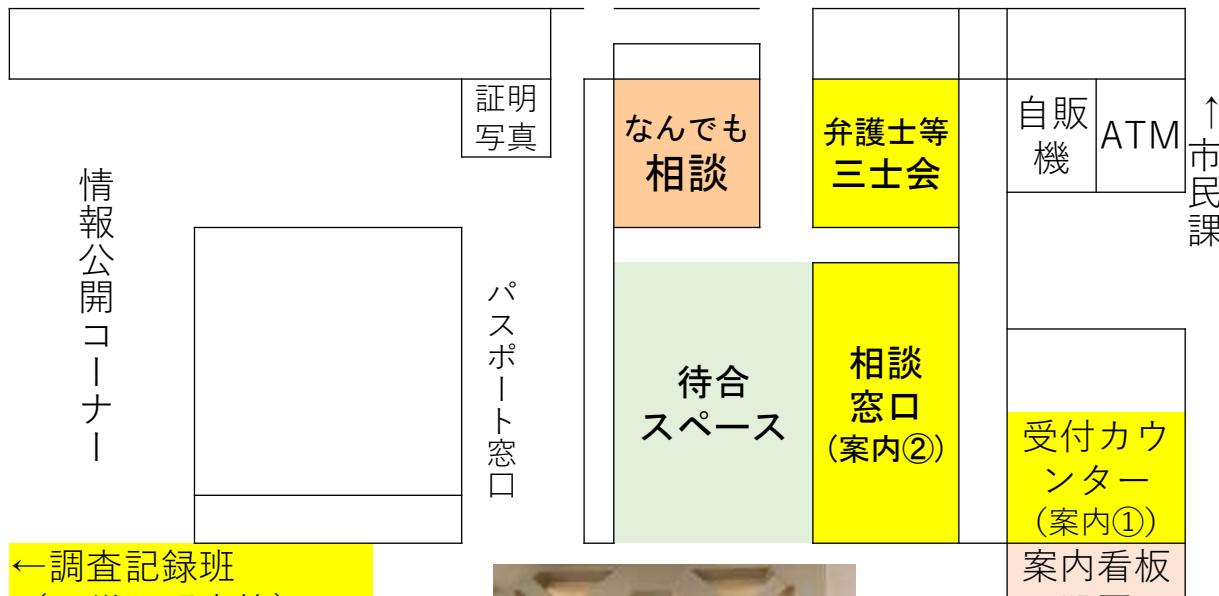
⑦相談窓口(災害時の相談は?)

実施項目	細部実施内容	担当
平時	<p>①災害の備え</p> <p>〈減災対策〉 ①ハザードマップ・被害想定の作成 ②地域防災計画・業務継続計画・受援計画の作成 ③災害対策本部マニュアルの作成 ④物資・資材等の備蓄 ⑤災害協定締結 ⑥住民啓発・防災教育・訓練の実施</p> <p>〈被害抑止対策〉 ①河川堤防・防潮堤・ダムなどの国土保全対策 ②防災施設の整備・建築制限③ 建物・設備等の耐震化 ④非構造物、工作物等耐震化 ⑤気象・気象の観測・観測の充実・強化</p>	◎危機管理課
	<p>②警報避難</p> <p>①災害警戒本部の開設 ②警戒等の収集・伝達 ③避難指示等発令 ④避難場所開放の指示 ⑤避難誘導</p>	◎総括班
	<p>③人材育成</p> <p>①訓練 ②研修</p>	◎危機管理課
	<p>④応急活動</p> <p>①災害対策本部体制の確立(危機管理課 ⇒ 総括班) ②災害情報の収集・連絡(総務課 ⇒ 情報班) ③救助・救急・消火・医療(消防本部・健康推進課・救急医療課 ⇒ 医療救護班) ④緊急輸送ルートの確保(道路河川課・管理維持課 ⇒ 道路河川班) ⑤被害拡大・二次災害防止の指示(危機管理課) ⑥物資の調達・供給(避難所・避難所外被災者含む。)(農政課 ⇒ 救援物資班) ⑦広域応援の要請(危機管理課) ⑧孤立地域の解消(危機管理課) ⑨帰宅困難者対策(観光交流課 ⇒ 帰宅困難者支援班) ⑩ライフラインの復旧(都市計画課・管理維持課 ⇒ 道路河川班) ⑪災害廃棄物(災害ごみ)の処理(環境課 ⇒ 清掃・衛生班)</p>	<p>①総括班 ②情報班 ③消防本部・医療救護班 ④道路河川班 ⑤総括班 ⑥救援物資班 ⑦⑧総括班 ⑨帰宅困難者支援班 ⑩道路河川班(管理維持) ⑪清掃・衛生班</p>
災害時	<p>⑤被災者支援</p> <p>①指定避難所の設置・運営(未来プロジェクト課 ⇒ 避難所支援班、ペット担当:環境課 ⇒ 清掃・衛生班) ②災害救助法の適用(社会福祉課・災害救助法担当業務区分) ④避難生活支援(社会福祉課・長寿福祉課) ③保健衛生・防疫(健康推進課・救急医療課 ⇒ 医療救護班) ⑤ボランティアの受け入れ(本部立上げ:社会福祉協議会との連携)(市民協働課 ⇒ 地域支援班) ⑥住宅被害認定調査 ⑦罹災証明書の交付 ⑧被災者台帳の作成(税務課・課税課 ⇒ 調査記録班) ⑨応急仮設住宅の提供、管理(建築住宅課 ⇒ 建築住宅班) ⑩生活再建支援金の支給(社会福祉課 ⇒ 救助班) ⑪弔慰金・義援金・見舞金等の支給(総務課 ⇒ 総務班、社会福祉課 ⇒ 救助班、会計課 ⇒ 会計班) ⑫遺体措置・対応(市民課・国保年金課 ⇒ 埋火葬班) ⑬相談室(被災者なんでも相談)の設置(くらしの安全課 ⇒ 市民相談班)</p>	<p>①避難所支援班・各支部、環境課 ②④救助班 ③医療救護班 ⑤地域支援班 ⑥⑦⑧調査記録班 ⑨建築住宅班 ⑩救助班 ⑪総務班(支援)・会計班 ⑫埋火葬班 ⑬市民相談班</p>
	<p>⑥復旧・復興</p> <p>①復旧・復興基本方針の決定 ②復興本部の設置 ③復興計画の作成 ④経済復興支援 ⑤復興まちづくり ⑥被災施設の復旧 ⑦激甚災害制度(都市計画・都市整備・建築住宅・公園緑地・建築住宅・道路河川・管理維持課)</p>	◎都市建設部 ・総括班
	<p>⑦指揮統制</p> <p>①指揮調整(危機管理課) ②災害広報(魅力発信課 ⇒ 広報班)③安全管理 ④組織間連絡調整</p>	総括班、②広報班
	<p>⑧対策立案</p> <p>①災害情報の収集(危機管理課) ②計画立案(危機管理課)</p>	総括班
⑨資源管理	<p>①関係機関からの人的支援 ②物資調達・供給(農政課)③組織環境(庁舎)の維持管理(管財課 ⇒ 管財班)</p>	②救援物資班 ③管財班

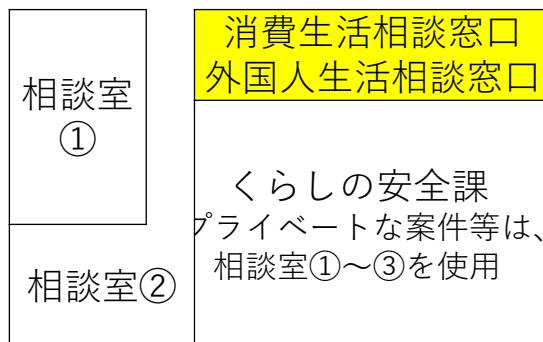
⑦ 市民相談運営体制(なんでも相談窓口)



『なんでも相談室』 配置図(本庁舎1階)



←相談室③



階段 ↓ 建築住宅班 (仮設住宅)

正面玄関



⑧把握、連携している女性団体

⑧ 把握、連携している女性団体

御殿場市消防団 女性部

防災訓練の支援受け
 -防災学習(御殿場中)
 -防災教室(東小)
 -地域防災モデル区訓練
 (応急救護・処置)



ごてママ情報局

**「家族を守るママ防災」
冊子の作成・配布**
 ~御殿場のママたちが作った
生活密着防災ガイド~

家族を守るママ防災



御殿場ママ活情報局
御殿場市

令和4年度改訂版

御殿場市婦人会 連絡協議会

防災教室の実施(R3)

(年間シリーズの教室)

- ・心肺蘇生法と応急手当
- ・災害時の健康管理と食事
- ・地域防災訓練への参加
- ・防災講話

令和3年度婦人教室 実施報告

日程	日・場	内 容	会 場
1	6月12日(火) 9:30~11:30	開講式・プログラム説明 講師:「エシカル講師」 講師:くらしの安全・健 活講習会員コーディネーター 様	市民交流センター 「みじきら」 空きホール
2	7月7日(水) 9:30~11:30 主婦会室(竹原町)	半日研修 講師:講師 「心肺蘇生法と応急手当」 講師:消防・防災活動委員 担当教員スタッフのみなさん	主婦会室(竹原町)
3	8月19日(水) 10:00~11:30 11月26日(水)	困難研修 (地震災害ガス漏出抑制装置及び避難車両) 困難研修会員 富士市消防署センター「みじさんエコピア」	富士市
4	11月18日(水) 13:30~15:10	初回講習 「災害時の健康管理と食事」 講師:ママのアドバイザー 高田麻乃 様	御殿場市民会館 大ホール
5	12月5日(日)	実践活動「吉田地区防災訓練への参観」 御殿場市可憐会で行われる災害備蓄巡回隊に参加し、主催の実施の実感を確認、実践	御殿場市内
6	12月9日(木) 9:30~11:30	授業式・実施報告・防災学習 主婦会室 「吉田富士山ハザードマップから」 講師:御殿場市危機管理課 吉田知事事務 山口 淳氏 様 中村 勝雄 様	市民交流センター 「みじきら」 空きホール

講演『男女が共に担う地域防災』

御殿場市
防災リーダー等
ステップアップ研修

日 時 令和7年10月22日(水)
午後6時30分～8時00分

場 所 御殿場市民会館 大ホール

研修テーマ

男女が共に担う地域防災
～令和6年能登半島地震に学ぶ現状と課題～

講演内容

東日本大震災(2011年)の教訓から、自主防災活動、避難所運営、防災訓練などに女性・多様な人々の視点と参画が必要だと指摘されています。では、女性・多様な人々の視点を踏まえた取組は、令和6年能登半島地震の被災地においてどの程度実践されていたのか。取組ができた地域では、なぜできたのか。事例をヒントに、これから地域防災のあり方を考えます。

講師 静岡大学グローバル共創科学部
同防災総合センター 教授
減災と男女共同参画研修推進センター
共同代表

池田恵子 様

プロフィール

富山県生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士課程退学。
専門は社会地理学。
青年海外協力隊、JICA技術協力専門家としてバングラデシュや
ネパールで環境保全や防災の事業にジェンダー視点を組み込む
活動に従事した後、2000年より静岡大学教員。
日本と南アジアの国々を対象に、地域防災への女性の参加、災害
リスク削減とジェンダー・多様性について研究している。



- ・ 指定一般避難所が1月31日以降も開設されていた14市町において、避難所における男女共同参画の視点による取組がいつ頃から開始されたか

『令和6年度男女共同参画の視点からの能登半島地震対状況調査』 静岡大学グローバル共創科学部 池田恵子教授作成

指定一般避難所における男女共同参画の取組		1週間以内	1か月以内	それ以降 時期不明	実施せず 把握せず	合計
子育て	授乳室の設置	1	2	1	10	14
	キッズスペースの設置	2	1	2	9	14
プライバシー	男女別更衣室の設置	6	2	1	5	14
	間仕切りによるプライバシー保護	9	3	1	1	14
トイレ	男女別トイレを離れた位置に設置	7	0	1	6	14
	女性トイレを男性より多めに設置	6	0	1	7	14
	トイレの個室や経路の照明	12	1	0	1	14
運営・ルール	責任者に男女を配置	5	0	0	9	14
	固定的役割分担とならない分担	5	0	1	8	14
	相談室・意見箱の設置、相談体制	4	2	1	7	14
	名簿管理の情報管理の徹底	7	1	1	5	14
安全対策	男女が共に行う防犯のための巡回警備	6	1	1	6	14
	性暴力・DV防止のポスター掲示	2	7	1	4	14
	犯罪が起きにくいレイアウト	6	2	1	5	14

- ※ 早い対応あり: 間仕切り、トイレ(男女別に離れた位置、照明)、名簿管理
- ※ あまり対応がない: 運営体制(女性責任者の配置、性別に固定した分担)、子育て家庭への支援
- ※ 早くやるか、やらないか→自治体間の差が大きい
- ※ 市町による格差は、被災の度合いや市町部の違いによる差とは関係ない
- ※ 避難所の取り組みが多い市町は、車中泊者、在宅避難者への支援も多い

⑨地域住民に期待すること

⑨ 地域住民に期待すること

～『総合的な地域防災力』の理解と実践！～

- ① 住民一人ひとりが自ら行う防災活動による「自助」
 - ② 自主防災組織や消防団、学校など地域社会による「共助」
 - ③ 国・地方自治体、その他の公共機関による「公助」
- を含めた「総合的な地域の防災体制・能力」

自 助

一人ひとりが自ら取り組むこと
防災意識を高め、自ら判断し行動

共 助

家族や近所、自主防災会
地域が一緒に取り組むこと

公 助

国や地方公共団体が
機能的に取り組むこと

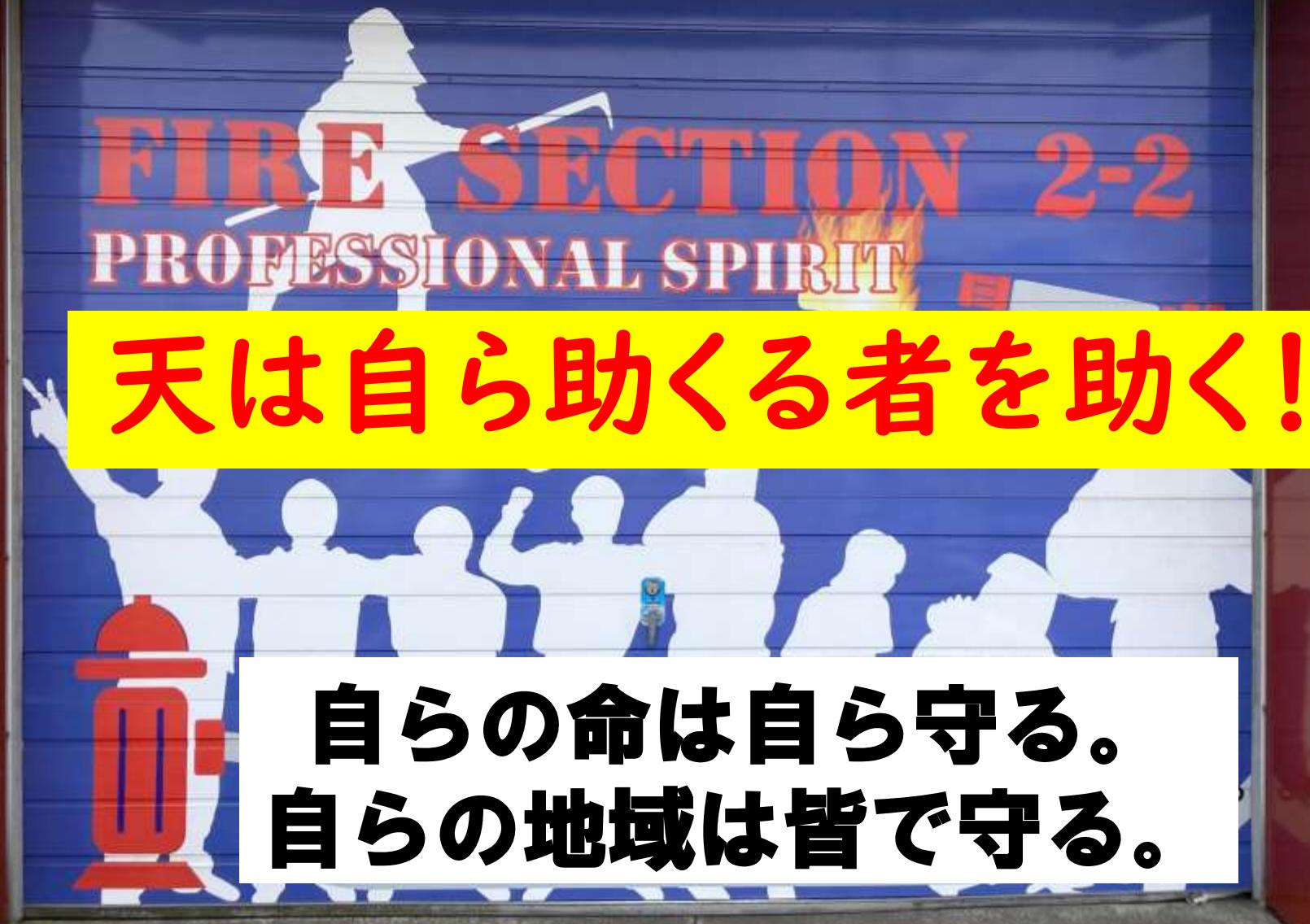
阪神淡路大震災時の救助比率『7:2:1』

⇒ 災害は「自分事」(一人ひとりの防災力の向上)

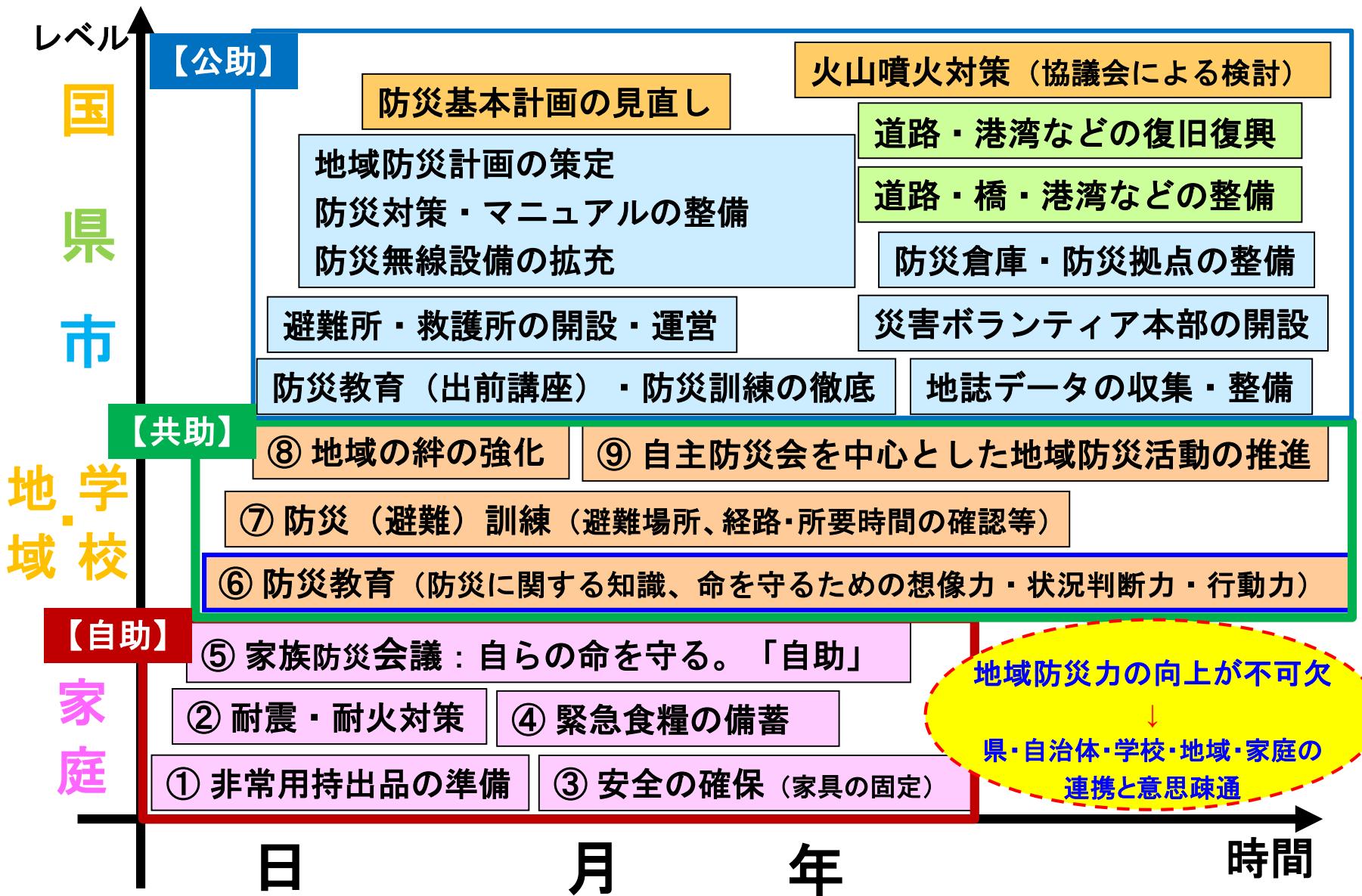
地域・学校・企業などにおける「防災教育」の充実



⑨ 地域住民に期待すること

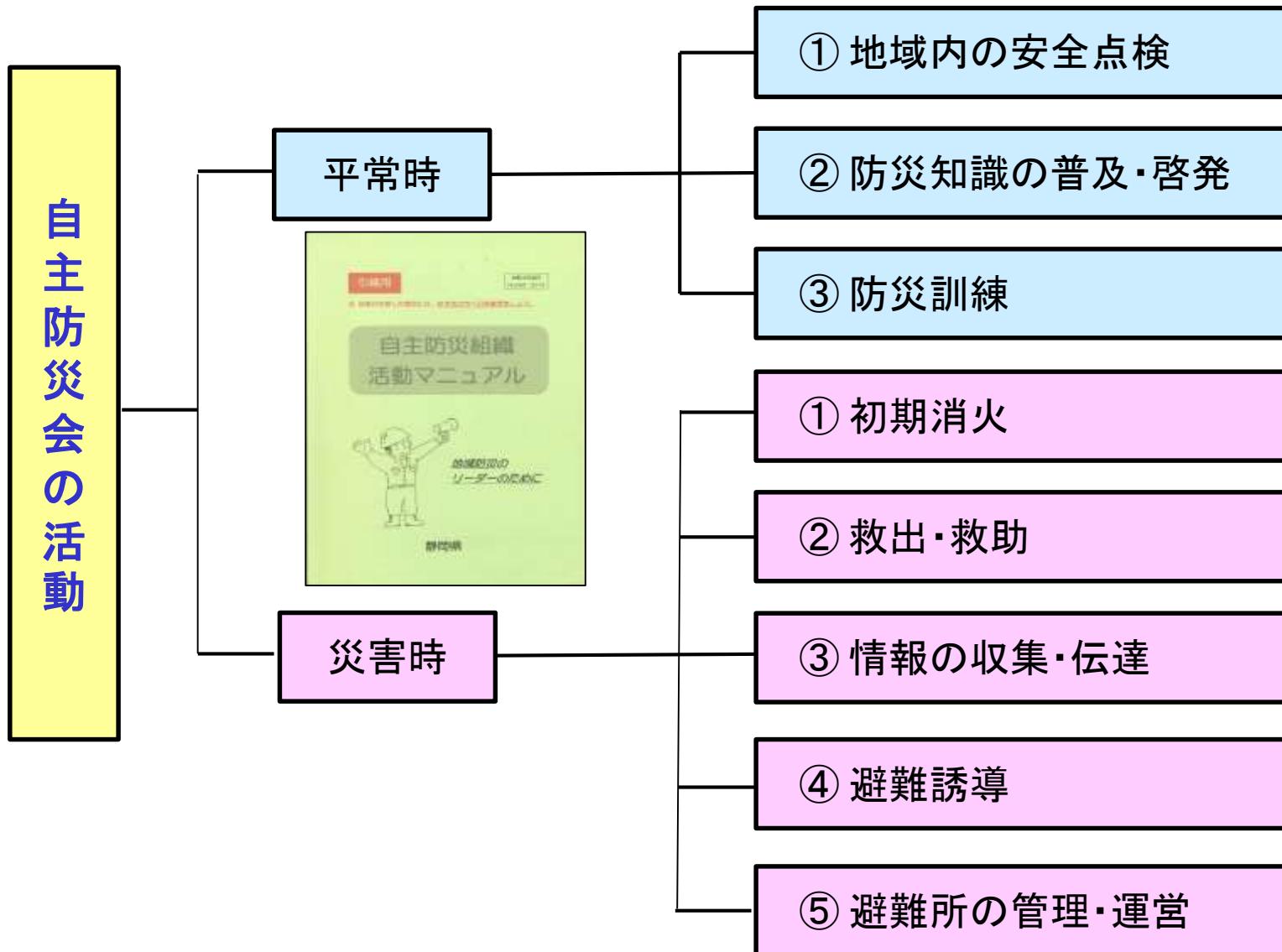


自助・共助・公助の総合的な地域防災力



自主防災組織の役割

自主防災会の目的:大規模な災害が発生した際、地域住民が的確に行動し、被害を最小限化



自主防災会への積極的参加と協力

●情報収集と伝達（情報班）

- 正確な情報の伝達
- 防災関係機関との連絡
- うわさ話、デマ発生の防止



●避難の誘導（避難誘導班）

- 避難者を避難所に誘導



●救出救護と避難行動要支援者の安全確保（救出救護班）

- 救出・救護活動
- 負傷者の応急手当・搬送
- 避難行動要支援者の支援



●避難所の開設・運営

- 飲料水の確保
- 炊き出し
- 食糧・生活用品の配布



⑩その他、地域住民に 知ってもらいたいこと

⑩ その他、地域住民に知ってもらいたいこと



○ 防災出前講座資料

自主防災会関連

- 令和6年11月24日地域防災訓練モデル区訓練 永原区 概要(PDF:3MB)
- 令和6年度自主防災会出前講座資料 御殿場市の地域防災力を考える!(PDF:9.8MB)
- 御殿場市指定避難所運営要領(各避難所レイアウト含む)(PDF:7MB)

医療関係

- 01 令和7年度4師会合同医療救護訓練説明資料(危機管理課、警防課)(07.11.13)(PDF:9MB)
- 02 御殿場看護学校講義資料(災害看護学)(PDF:8MB)

その他

- 【2024台湾防災教育セミナー】御殿場市の火山災害に対する取組みを通じて防災教育を考える!(06.05.23)(PDF:8.8MB)



御殿場市HP
○ 防災出前講座資料



御殿場市HP
○ 富士山火山避難計画

講座資料

- 令和5年度ステップアップ研修
次第・レジュメ(6.2.20)
- 防災DX『御殿場市富士山火山避難計画の概要について(研修用)』
- 資料1「御殿場市富士山火山避難計画(6.2.20)」
- 資料2「御殿場市富士山火山避難計画の概要について(6.2.20)」

問い合わせ

危機管理課
TEL:0550-82-4370



御殿場市域における主な災害

出典：御殿場市地域防災計画「資料の巻」

台風：6件 集中豪雨：1件 低気圧：1件 大雪：1件 地震：3件

災害発生日	種別	概要
昭和41年9月24 ～25日	台風	台風第24号と26号が日本列島を縦断 御殿場市の被害は 負傷者2人、住家全壊6戸、半壊382戸、床下浸水多数、罹災世帯2,231世帯、罹災者11,155人、被害総額6億9,109万円 御殿場市にはじめて「災害救助法」適用
昭和47年7月12日	集中豪雨	静岡県東部に集中豪雨 御殿場市では 床上・床下浸水138世帯 、田畠の流出・冠水等672ha、被害総額2億5,393万円
昭和54年10月19日	台風	台風第20号による御殿場市の被害は、 住宅全壊10戸、半壊4戸、流失1戸、床上浸水42戸、床下浸水810戸 、損害額23億394万円、総雨量300mm
昭和57年8月1日	台風	台風第10号による御殿場市の被害は、 住家半壊5戸、一部破損1戸、床上浸水21戸、床下浸水107戸 、損害額18億530万円、総雨量555mm
平成16年12月5日	急速に 発達した 低気圧	急速に発達した低気圧の影響で御殿場市塚原地先にて 家屋が倒壊、負傷者3名 (平成16年の台風上陸個数は、気象庁の統計開始以来の記録(6個)を大きく更新し10個を記録)
平成19年9月6日	台風	台風第9号による御殿場市の被害は 床上浸水13戸、床下浸水31戸 、特に富士岡地区は 黄瀬川の氾濫 により、甚大なる被害を受ける。被害総額3億4千百万円、総雨量631mm
平成22年9月8日	台風	台風第9号による御殿場市の被害は 床上浸水1戸、床下浸水10戸、道路等被害22か所、農地等被害174か所などの被害 を受ける。被害総額約1億3千万円、降水量10時間で218mm
平成23年9月21日	台風	台風第15号による御殿場市の被害は、 負傷者4名、床下浸水や屋根・窓の損壊11件、倒木による道路障害74か所以上 、農地等被害16か所、停電1,100戸などの被害を受ける。被害総額約5,700万円 1時間あたりの最大降水量63mm、最大瞬間風速45.9m
平成26年2月14日	大雪	低気圧接近に伴い大雪警報が発令され、御殿場消防署管内の 積雪量が85cm となった。東名高速道路をはじめ市内主要幹線で交通規制が行われ、公共交通機関も運休となった。 御殿場市では 軽症者16名、住家の一部破損やビニールハウスの倒壊等の被害が多数発生

御殿場市域における主な災害

災害発生日	種別	概要
平成30年9月30日	台風24号	台風第24号による被害は、全国死者5名・負傷者227名・行方不明者2名（御殿場人的被害無し）、 停電1,300世帯、屋根・壁・シャッター損傷89件、倒木53ヶ所、土砂崩れ1ヶ所 など特に強風による物的被害を多数受ける。
令和元年10月12日	台風19号	台風第19号による御殿場市の被害は、 死者1名、負傷者1名、床上浸水6戸、床下浸水3戸、屋根や窓等の損壊31戸、農地等被害12箇所、市道陥没等の道路被害4箇所、河川護岸崩落等の被害4箇所、林道等の被害21箇所、東山旧岸邸、乙女3号井源泉施設、青少年広場の損傷、県指定天然記念物「東山のサイカチ」の損壊 などの被害を受ける。 被害総額約8,700万円 総雨量558mm

大雪:H26.2.14 豪雪被害

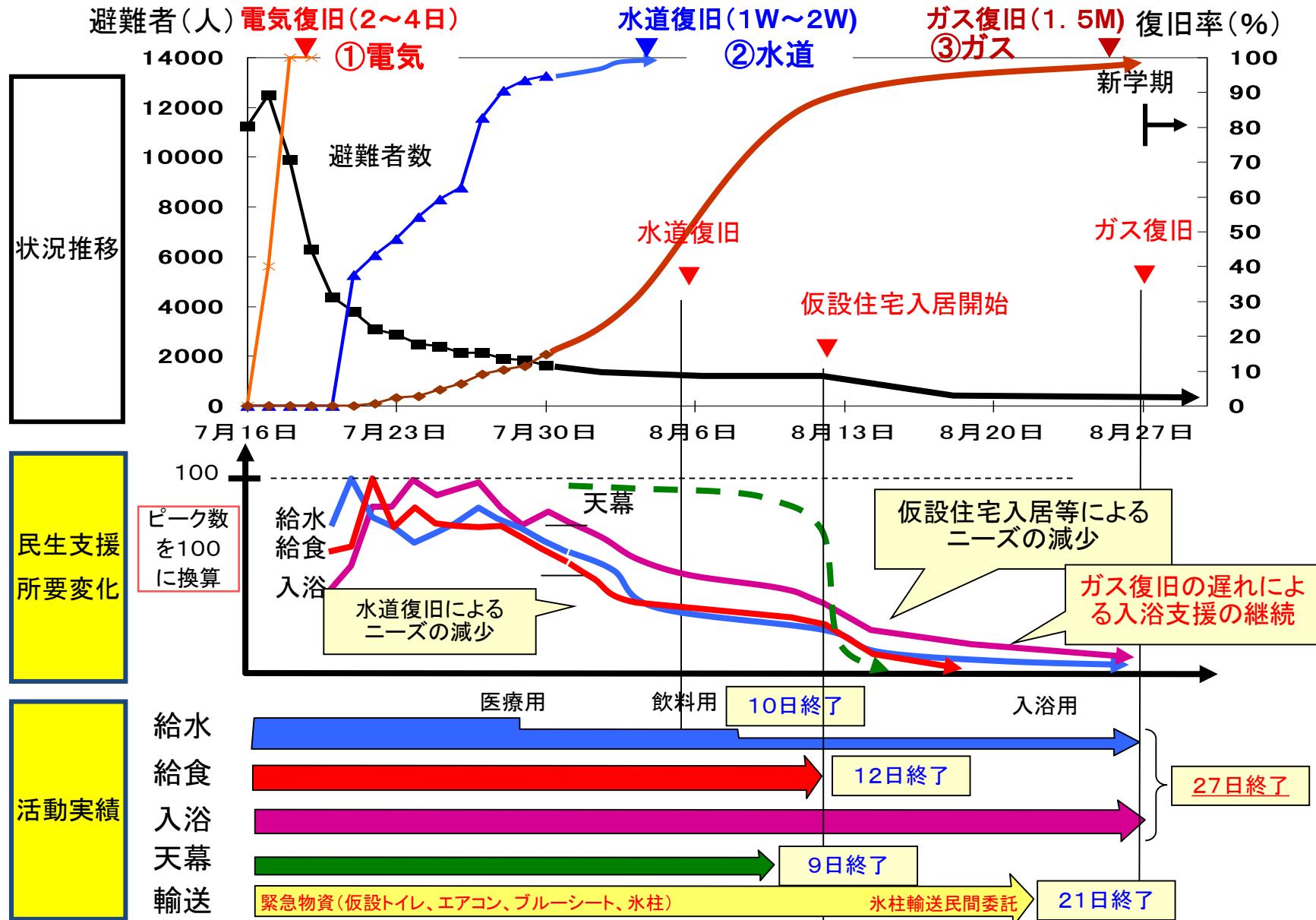
台風24号:H30.9.30 暴風被害

御殿場市の被害状況屋壁

- ①倒木:53ヶ所
- ②土砂崩れ:1ヶ所
- ③停電:1,300世帯
→ 罹災証明:89件

台風19号:R1.10.12 大雨被害

中越沖地震における民生支援所要の変化と活動実績



Q & A



やれることはすべてやったし、手を抜いたことは一度もありません。
常にやれることをやろうとした自分がいたこと、それに対して準備ができたことに
誇りに思っています。

資料源:「夢をつかむ イチロー262のメッセージ」より